



印西市

議会 だより

第179号

平成29年(2017年)2月

発行 千葉県印西市議会

編集 議会だより編集委員会

〒270-1396

千葉県印西市大森2364-2

TEL 0476-33-4614

FAX 0476-42-5299

メールアドレス

gikai@city.inzai.lg.jp



「永治小学校 ラストラン」(平成28年11月/小学校駅伝競争大会にて) 議会だより編集委員会

平成
28
年
第
4
回
定
例
会

会期11月29日
~12月21日

新学校給食センター完成間近!

学校給食センターの設置及び管理に関する条例を改正

目次

- P2** 市制施行20周年記念
中学生議会
議会運営委員会活動報告
議会改革推進特別委員会
活動報告
- P3~6** 一般質問(個人質問16人)
- P7** 花火中止問題
特別委員会報告
議案と審議結果一覧
発議案・陳情
- P8** 常任委員会の審査結果
- P9** 常任委員会視察報告
- P10** 市民の声
行政視察に来庁
編集後記



食材搬入のためのプラットフォーム

印西市鹿黒南に建設中の学校給食センターは、平成29年3月に竣工の予定で、今後の学校給食事業の中核をなすことから、名称を「印西市中央学校給食センター」に決定しました。

本給食センターは、調理能力が一日6,000食で、3,000食ずつ調理できる調理場を左右対称に配置し、調理中の様子が見学できる施設となっています。

9月から、既存の牧の原学校給食センターや印旛学校給食センターとともに、子ども達へ安全・安心な給食の提供を始めます。

新学校給食センターが

3月に竣工、9月から本格稼働

第4回定例会は会期23日間で開かれました。今定例会では、条例の制定1件、条例の一部改正が7件、条例の廃止が1件、平成28年度補正予算が3件、財産の取得が1件、その他が8件の計21議案のほか、報告2件、諮問1件、陳情3件、発議案1件が提出され、それぞれ慎重な審議が行われました。
なお、議案などの議決結果については、7ページに掲載しています。

印西市市制施行20周年記念中学生議会

～議会だより編集委員が取材しました～



中学生議会

平成28年11月10日(木)、市制施行20周年を記念し、次世代を担う市内公立中学校の生徒27名による「印西市中学生議会」が市議会本会議場で、開催されました。

この中学生議会は、市の将来について考え、まちづくりへの関心を高め、参画意識の醸成を図ること、また、中学生の視点で見た市の課題及び市に対する意見などを今後の市政運営の参考にすることを目的としています。

市議会のホームページで当日の様子がご覧いただけます。

印西市市制施行20周年記念 中学生議会議員名簿

議席番号	議員名	質問分野	議席番号	議員名	質問分野	議席番号	議員名	質問分野	議席番号	議員名	質問分野
1番	篠原菜月(印西中) 議長	都市基盤	8番	木村樹輝(木刈中)	教育・文化	15番	尾花千風(原山中)	交通	22番	渡邊圭勝(本埜中)	交通
2番	本井捷暉(印西中)	安全・安心	9番	田原 舞(木刈中)	都市基盤	16番	今川凜香(西の原中)	健康福祉	23番	大久保那海(本埜中)	安全・安心
3番	井原綾香(印西中)	生活環境	10番	吉野生萌(小林中)	交通	17番	竹内万柚子(西の原中)	まちづくり	24番	五十嵐成美(本埜中)	まちづくり
4番	伊藤勇智(船穂中)	健康福祉	11番	谷 祐奈(小林中)	まちづくり	18番	池邊虎之介(西の原中)	産業振興	25番	高羽優介(滝野中)	生活環境
5番	早坂ゆい(船穂中)	産業振興	12番	折山彩果(小林中)	生活環境	19番	間野雄太(印旛中) 議長	都市基盤	26番	谷川和哉(滝野中)	教育・文化
6番	今 颯人(船穂中)	まちづくり	13番	菅井太良(原山中) 議長	安全・安心	20番	笠井拓実(印旛中)	都市基盤	27番	澤田大知(滝野中)	安全・安心
7番	廣瀬 心(木刈中)	教育・文化	14番	廣戸友香(原山中)	生活環境	21番	中村駿仁(印旛中)	教育・文化			

政務活動費の収支報告書及び領収書の全面公開へ

議会改革推進特別委員会

印西市議会では、現在、各会派に支給されている「政務活動費」について、マニュアルを作成し、毎年度、収支報告書及び領収書等の関係書類を市役所一階の「行政資料コーナー」にて一般公開し、透明性の確保に努めている。

また、ホームページでは収支報告書のみを公開していたが、今定例会中の当該特別委員会において、領収書等を含めて全面公開することを決定し、29年早々を目標にホームページ上での公開の準備を進める。

昨今、全国の地方議会において、「政務活動費」の不正等により、議員が辞職又は「政務活動費」の返還という事態が報道されている。

印西市議会では、「政務活動費」については、以前より、不正等が起



きることの無いよう厳格に運用してきたが、今回、残念な事案が発生した。

今後、当該特別委員会としても、市民の皆様の信用と負託に応えられるよう、委員会のネット中継等を含めて、さらに、議会改革を推進してまいります。

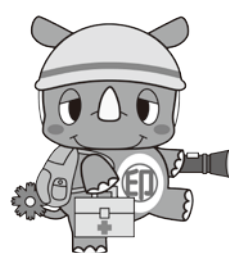
議会における大規模災害対策

議会運営委員会

印西市議会運営委員会では、大規模災害発生時の議会及び議員としての対応について議論を重ね、「大規模災害対応方針」(対応指針)、「災害対策会議設置要綱」(設置要綱)、「災害対策行動マニュアル」(行動マニュアル)を策定、11月29日の全員協議会において、全議員に説明し了承された。

『対応指針』では、市議会及び議員が大規模災害に際し、どのように対応すべきか共通の認識が持てるよう、また、非常時に即した役割が果たせるよう規定した。

この対応指針を基本として、印西市に「印西市災害対策本部」が設置された場合に、議会に「災害対策会議」が迅速に設置できるよう『設置要綱』を定めた。



災害対策会議は全議員をもって構成し、必要に応じて、部会を置くことができる。

また、併せて、議員一人一人が具体的な行動がとれるよう『行動マニュアル』を定め、運用することとした。この『行動マニュアル』では、災害発生時から初期・中期・後期と区分し、議員が概ね小学校単位を中心として行動し、災害等に関する情報を議会として一元化することを規定した。

委員会活動報告

一般質問

《一般質問とは》

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

平成28年第4回定例会では12月1日から4日間、17人の議員による個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。

この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。(なお、山本清議員からは、原稿提出期日までに、原稿が提出されませんでしたので、掲載していません。)

個人質問

地域住民を交えた 学校適正配置の検討を

米井重行議員

質問 学校適正配置について、保護者や地域住民とのこれらの進め方を伺う。

教育部長 過小規模校の検討対象とした市内4小学校において、各学区の児童及び未就学児の保護者の皆様を対象とした説明会を開催している。今後は、意見交換会などを順次開催し、保護者や地域の皆様との話し合いを進めたいと考えている。

再質問 意見交換会を順次開催していくの事だが具体的にどのよう進めて行くのか。

再質問 意見交換会等に、参加できない方などへの対応は、どのように考えるのか伺う。

答弁 意見交換会等の開催後は、当日の説明事項や意見等の概要をまとめて「お知らせ」を作成し、町内会等を通じて、地域の皆様に情報提供をした

答弁 児童及び未就学児の保護者の皆様を対象とした意見交換会を開催し、継続的な話し合いの中で、ある程度の方角性が出たら、地域の皆様を対象とした説明会を開催したいと考えている。

再質問 意見交換会等に、参加できない方などへの対応は、どのように考えるのか伺う。

答弁 意見交換会等の開催後は、当日の説明事項や意見等の概要をまとめて「お知らせ」を作成し、町内会等を通じて、地域の皆様に情報提供をした

◆その他の質問

○コスモス道路未買収地の状況

○市道の船尾地先から戸神までの進捗状況

○防犯ブザーの普及と周知

○登下校情報サービスの利用

○公園施設の長寿命化について

いと考えている。



個人質問

地域包括ケアシステムで 住環境の整備を

軍司俊紀議員

質問1 地域包括ケアシステムの構築のために高齢者がどのような住宅に住んでいるか、住まい形態のニーズ調査を行っているのか。

市長 今年度実施予定の第7期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定に係るニーズ調査の項目として取り入れる方向で検討したい。

質問2 地域包括ケアシステムの構築のためには可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる住環境が

求められているが、市ではどのような施策を提供できるか。

市長 現状では、民間活力による住環境の整備に委ねているが、今後は、安心な住まいの確保に向け、7期計画策定で住まいの施策について位置づけをしていきたい。

再質問 住宅改修の際に介護保険から補助があるが、上限が決まっている中で上乗せを市として考えられないか。

健康福祉部長 検討していく。

質問3 UR(都市再生機構)では、高齢者がいつまでも安

心して、生き生きと住み続けられるまちづくりを進めているが、協議を行っているのか。

市長 現在行っていないが、高齢化対策の一つとして、UR所有団地のバリアフリー化等の取り組みを協議する。

◆その他の質問

○中学生議会と今後の市政運営について(住みよいまち)を実感するための施策①医療費無償化、②待機児童問題、③就学奨励制度「安全・安心のまちづくり」のための施策①通学路の危険箇所の点検及び対策②ハザードマップ

○放射能・放射線対応

○牧の原地区の将来(原小学校の新入児童数、校舎の増設や通学区域の変更)

個人質問

市の広聴制度と マイナンバーカードについて

稲葉健議員

質問1 市の広聴制度について伺う。

市長 市の広聴制度は、印西市広報広聴規則により、「市長懇談の実施」「市政ポスト」「文書、インターネット等による市民の声の把握」「陳情、要望等の受理」等により行っている。広聴制度は、市民の声を良く聞き、市民目線で市政運営を行ううえで、大変重要なものと考えている。

質問2 広報紙「広報いんざい」の現状について伺う。

総務部長 現在29800部

再質問 高齢者への対応はどうか。

健康福祉部長 市では、文字による情報入手が困難な方を対象にボランティア団体の協力を得て「広報いんざい」を音訳したCDを作成している。

再質問 高齢者への対応はどうか。

再質問 全てのコンビニエンスストアで交付サービスが利用できるのか。

答弁 全国のコンビニエンスストアで利用できるが、店舗・事業者側の事情でキオスク端末を設置していない店舗では利用できない所もある。

答弁 高齢による視力の低下などで文字が読みづらい市民にも広く利用できるように対応している。

質問4 マイナンバーカードを用いた事務処理の追加について伺う。

総務部長 平成29年7月からマイナンバーカードによるコンビニエンスストアでの証明書等の交付を予定している。

再質問 全てのコンビニエンスストアで交付サービスが利用できるのか。

答弁 全国のコンビニエンスストアで利用できるが、店舗・事業者側の事情でキオスク端末を設置していない店舗では利用できない所もある。

個人質問

予算編成と重点施策 市道山田・平賀線の補修

岩崎成子議員

質問1 平成29年度の予算編成の基本的な考えを伺う。

市長 必要性や有効性を厳しく検証し、市民サービスの向上に資することを念頭に、予算編成に取り組んでいる。

再質問 重点施策は。

答弁 第2次基本計画において、「新しい成長」、将来につながる「持続可能」、「ブランド向上」の3つの視点から重点的に進める施策を定めており、予算等において重点化して進めることとしている。

質問2 「市道山田・平賀線」

の道路補修について伺う。

都市建設部長 平成27年度に現況舗装の状態を調査し、舗装の改築方法を検討した。結果として、現在の交通量に耐えられない舗装構成であるため、劣化の進みが早く、強度のある舗装構成に改良する必要があるとの結論になった。今年度は、延長約4.8kmのうち、400mにおいてアスファルト舗装を厚くし、路盤の強度を高める舗装改良工事を行う計画であったが、設計違算により、工事の発注も含め調整

を進めている。

再質問 今後の事業計画は。

答弁 総工事費が約5億円程度と見込まれていることから、社会資本整備総合交付金を活用して整備を予定している。

◆その他の質問

○公共交通の充実について

○高齢者福祉の充実について

○教育行政について



個人質問

膨らむ医療費の対策は「保健の充実」

増田 葉子 議員

質問 平成27年度決算でも医療給付費は伸び、国民健康保険特別会計の規模は100億円に迫ろうとしている。膨らむ医療費への対策は、健康施策の確実な実行、予防医療、保健の充実しかない。市の保健部門の人的、施設的な体制はどうなっているか。

健康福祉部長 合併直後の平成23年度は、保健師一人あたりの人口は7544人。現在は5949人である。

再質問 人口が年間千人増えしており、それに見合った専門職の配置がされていて安心した。施設環境はどうか。

答弁 健診や検診、各種啓発事業は、保健センター以外の施設を活用し、市民の利便性を考慮して実施している。

再質問 市内の様々な施設を何とか確保しているように感じられるが、苦労はないか。

答弁 民間施設の活用も視野に、各施設の主催事業と調整し、会場を確保している。

再質問 中央保健センターは、市制施行前に整備された、まさに町の保健センターという

たはずまいで、トイレも狭くて和式だ。ひとたび災害が起れば中核的な救護所になるはずなのに、施設、設備面で基幹センターと呼ぶにふさわしいか。人口がもつとも多いニュータウン中央地区にも、もう一つ保健センターが必要ではないか。UR(都市再生機構)の施設跡に保健センターを整備できないか。

市長 URから正式な協議があれば、どのような活用が図れるか検討していきたい。

◆その他の質問
○「介護予防・日常生活支援総合事業」の完全移行に向けて
○ルーティンワーク行政にならないために

再質問 事務委託方式であれば単独でも同様ではないのか。
答弁 現在作成中のシミュレーションの内容を見て、判断していきたい。

個人質問

消防の合併協議・コンビニ交付サービス

金丸 和史 議員

質問1 印西市の人口が10万人に到達した際、イベント等は検討しているのか。

企画財政部長 平成32年を想定し、5万人や9万人に到達した際の実績等を踏まえ、これから検討していく。

質問2 住民票等のコンビニエンスストア交付サービスの準備は順調に進んでいるか。

市民部長 平成29年7月のサービス開始に向け、他課と連携し、準備を進めている。

再質問 視察した東海市と同様に、戸籍等の証明書交付

総務部長 議員のご指摘を提案として受け止める。



◆その他の質問
○ふれあいロード美化活動
○「労働条件審査」の導入

個人質問

安心して子育てできる環境づくりを

浅沼 美弥子 議員

質問1 里帰り出産をした方から、「県外で予防接種が受けられないため、里帰りを切り上げ帰宅せざるをえなかった。」との声。実家での産後ケアに、市の施策によって切れ目が生じている。県外接種ができるよう改善すべきでは。

健康福祉部長 予防接種については生後2か月から開始するものも多くなってきた。他の自治体の状況も参考に、予防接種を受けやすい環境の整備に努めてまいりたい。

質問2 祖父母の為に、今と昔の子育ての違いを説明する等、最新の子育ての知識を冊子にし「子育て応援手帳」として配布してはどうか。

健康福祉部長 時代による子育て方法の違いなどから親子間で意見の食い違いなども生じているとの声もある。祖父母向けの育児応援手帳は、子育ての世代間ギャップを埋め、祖父母世代と親世代のよい関係を作る一助として活用できる。また、祖父母世代に、子育て世代の良きサポーターとなって応援をして

いただくことは、安心して子育てができる環境づくりにもつながる。先進自治体の事例を調査研究するとともに当市のニーズに合った内容となるよう検討を進めたい。

◆その他の質問
○リトルベビー用母子手帳
○子育て世代包括支援センターの設置



個人質問

小林「すずかけ通り」を大型車通行禁止に

伊藤 真一 議員

質問 「すずかけ通り」に面している住宅地は、最も厳しい規制がかけられている地域なのに、夜間の騒音は規制基準値を大きく超える値が出ているため、住民から「安眠が保たれない」との苦情がでてくる。夜間だけでも大型車通行禁止にするように警察署と協議する考えはないか。

市民部長 印西警察署に確認したところ、接続する国道356号線と、県道千葉白井印西線との関係もあり、難しいとの事なので、注意喚起の看板を設置し対応していきたいと考えている。

再質問 今は、県道千葉白井印西線より数百m通りに入った所と、国道356号より約10m通りに入った所に看板がある。今後は通りに入る前に、看板を設置するという認識でよいのか。

答弁 現状を確認し、印西警察署と協議のうえ、「すずかけ通り」に入る手前の国道356号、及び県道千葉白井印西線への設置を考えている。

◆その他の質問
○「大森坂上から鹿黒へ向かう歩道」の安全性の改善について
○道路交差点の信号機の改善について
○中学生議会の質問にでた歩道の整備状況の進捗について



会議録がインターネットで閲覧できます。

ホームページアドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/inzai/inzai.html>

市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は、紙面の都合により要約してあります。会議録による閲覧に加え、インターネットによる閲覧ができますので、ぜひご覧ください。なお、会議録は次の場所で閲覧できます。

第4回定例会の会議録は、3月上旬頃閲覧開始予定です。

- ◇議会事務局(市役所5階)
- ◇行政情報コーナー(市役所1階)
- ◇支所(印旛・本埜)
- ◇市内図書館6館(大森、小林、小倉台、そうふけ、印旛、本埜)

印西市議会 会議録の検索と閲覧

印西市議会事務局 〒270-1396 千葉県印西市大森2364-2
TEL 0476-42-5111 FAX 0476-42-7242

検索する

閲覧する

直近の会議録はこちらから閲覧できます

※お問い合わせ
当システムでは、人名や地名などJIS第1・第2水準にない文字については、JIS第1・第2水準の文字に置き

個人質問

安全・安心なまちづくり 交通安全・防災対策

松尾 榮子 議員

質問1 市内の交通事故多発箇所について。同じ場所でも度も事故が起きるのは何らかの原因があるのでは。警察等関係機関と連携して事故防止対策を図るべきではないか。

再質問 木刈地区のバス通りは区画線が磨耗し完全に消えてしまっているところが非常に多い。車が追い越しなどの際に歩道ぎりぎりに走り、子どもたちにも非常に危険だ。対策をどう考えているか。

市民部長 情報把握に努め、警察等と連携し交通安全対策に取り組んでいきたい。

再質問 交通事故多発箇所について、市として市民にわかりやすく周知してはどうか。

答弁 千葉県警がホームページに掲載しているところであるが、市のホームページにおいても市民にわかりやすく周知をしていきたい。

都市建設部長 市道部分については本年度予算の範囲内で対応したい。千葉県が管理している北環状道路部分については、県に対応をお願いしていきたい。

質問2 諸事情により遅れていた避難所への防災井戸の整備の現状は。

市長 防災井戸は現在、市役所、印旛支所、平賀出張所の3箇所を整備しているが、今後は各中学校区9箇所を整備する計画である。本年度は木刈中学校に整備予定であり、現在、施工業者も決定し工事に着手するよう進めている。

再質問 今後の計画は。

総務部長 次年度の防災井戸の整備については、船穂中学校区として高花小学校に設置を予定している。

◆その他の質問
○印西の良さを生かした魅力あふれるまちづくり
○文化・芸術活動の推進

個人質問

深刻化するイノシシ被害 市街地でも目撃

近藤 瑞枝 議員

質問1 印西猟友会は、捕獲従事者43名、平均年齢68歳であり、高齢化が危惧されている。来年度から、狩猟免許取得の全額補助を実施予定であるが、他市の先例を伺う。

再質問 市街地での被害は無いようだが、目撃情報を伺う。

環境経済部長 鴨川市は、毎年10名程度増員し従事者130名を超える。当市でも十分に成果が得られるものと考えられる。

再質問 国・県の事業対象外の印西市電気柵設置補助事業は、全農家が対象となるのか。

答弁 全額補助の国・県の事業は採択要件により対象外の場合もあるが、市単独事業は、出来る限り対象となるよう努めている。活用してほしい。

質問2 印西はメタボリックシンドローム該当者は少ないが、予備軍は県内1位である。蒲郡市ではメタボ対策の体重測定を市職員が始め、市民へ

と広げた。当市も、まず職員が参加する健康づくり推進プロジェクトを行ってみたいか。

健康福祉部長 有効な手段の一つであると考えられる。

◆その他の質問
○市立中学校の部活支援について（公共施設使用について）



個人質問

空き家対策の その後について

玉木 実 議員

質問 空き家対策について、市役所当局の窓口が建築指導課に決まったが、調査・研究はどのように進んでいるか。

再質問 高花三丁目の現地の状況と空き家への対応は現在どうなっているか。

市長 空き家については、職員による実態調査を始めており、市内市街化区域を中心に進めて「建築物の外観」の状況、「郵便受け等」や「雑草の繁茂」について調査票や写真で記録している状況で、平成29年度末までには調査を完了する予定である。

再質問 近隣市町の動向や状況をどのように認識しているか。

答弁 現地調査を定期的に行い、実態を把握し庁内関係課と連携して改善指導等を継続している。

再質問 空き家所有者の責任をどのように認識して貰うか。

答弁 現地調査を定期的に行い、実態を把握し庁内関係課と連携して改善指導等を継続している。

再質問 管理不全の空き家の解消に向けて、市独自の条例化について、市長の考えを伺う。

市長 管理不全の空き家解消に向けてさまざまな支援機構や活用がある。特別措置法が施行され、市独自の空き家に関する条例化に前向きに検討する。



個人質問

ひとりでも外出したい 便利なバスの運行を

山田 喜代子 議員

質問1 公共交通の充実の課題をどうとらえているか。

再質問 市民の関心も高く、高齢化の進展に伴い、よりニーズが高まることを予想される。交通不便地域の解消と高齢者への移動手段について対応すべき課題である。

再質問 市民からの要望は。

答弁 ふれあいバスでは停留所の新設、運行ルートの変更、増便や他ルートとの接続の改善等の意見や要望がある。

再質問 公共交通で市民の満足度は年々下がり、重要度は

逆にながっている。企画財政部を中心に全庁で充実に向けて取り組む必要があると考えられる。

市長 必要である。

質問2 特別支援学校卒業後の就労支援の状況はどうか。

健康福祉部長 市では自立支援協議会を設置し、特別支援学校進路指導主事にも参加頂き、各企業や各事業所などとの意見交換をするなど、連携を図りながら卒業後の就労支援に努めている。

◆その他の質問
○市制施行20周年記念中学生議会の質問。まちづくり、教育・文化、都市基盤、生活環境―印旛中、印西中、原山中等の通学路対策は
○日本国憲法を守ることに
ついて市長の見解は
○いこいの湯の利用料の軽減
温浴施設利用料金の補助は

「i 広報紙」が「マチイロ」にリニューアル!

※「i 広報紙」が9月中旬から「マチイロ」にサービス名を変更し、アプリがリニューアルしました。
すでにご利用のみなさんは、アップデートでアプリが入れ替わります。



QRコードからもダウンロードできます。

■始めるのは簡単です

App Store・Google Playから「マチイロ」を検索しダウンロード。

お住まいの地域のほか、簡単な設定をします。

広報紙が画面のトップに表示されます。最新の広報紙も配信されます。

■こんな使い方もできます

- ① **かんたん** ホーム画面からタッチ一つで最新号が見られます。
- ② **スクラップ** 気になる記事は画像で保存。そのままSNSでシェアもできます。
- ③ **プッシュ通知** 発行日にはスマートフォンなどに通知が届きます。

※このアプリケーションは㈱ホープが作成したものです。広告が掲載されますが、印西市とは関係ありません。マチイロの利用やシステムの質問は㈱ホープ(☎092-716-1404)。

スマートフォンなどで使えるアプリ「マチイロ」で議会だよりと広報いんざいをいつでも、どこでも読むことができます。

個人質問

農業排水と生活排水の問題

小川利彦 議員

質問 農業排水と生活排水が流れる河川・排水路の対応に
関する市の考え方について伺
う。

市長 市として、土地改良事
業により整備された排水路に
ついては、基本的には、土地
改良区が対応していただきた
いと考えている。しかしなが
ら、道路の排水により、排水
路に支障をきたしていること
認められる場合については、市
で対応している場合もある。

再質問 水路は青道とされて
いる事から、印西市は青道を

どの様に考えているのか。
都市建設部長 青道について
は、公図上に記載されており、
地番がふられていない、青い
線で表示されているもの。

印西市法定外公共物管理条例
に基づき、適正な利用を図り、
もって公共の安全に資するも
のであると考えている。

再質問 水路の土地所有者と
しての認識はあるか。
答弁 水路の土地所有者とし
ての認識はある。

再質問 法定外公共物は、ど
このだれが管理するものか。

答弁 法定外公共物について、
土地の管理は市である。

再質問 土地改良区に改修工
事の対応をお願いする事は、
農家負担金で改修する事にな
る。農家負担金を徴収してい
ない家庭からの生活排水が流
れ込んでいる事から土地改良
区での対応は困難との事であ
るが、それでも土地改良区に
対して、対応を依頼するのか。

市長 基本的に土地改良法に
基づき土地改良区に対応をお
願いするが、場合によっては
土地改良区と協議する。

◆その他の質問

○公民館事業について

○印西市という組織について

個人質問

災害廃棄物処理計画と 犯罪被害者等支援条例

橋本和治 議員

質問1 市は平成27年第4回
定例会において、平成28年度
中に災害廃棄物処理計画を策
定すると答弁した。その進捗
状況を伺う。

市長 現在、策定業務を進め
ており、1月上旬には、パブ
リックコメントを実施し、平
成28年度末までには、災害廃
棄物処理計画を完成させたい。

質問2 犯罪被害者等支援条
例

例についても、平成28年度中
に制定すると答弁している。

現在の進捗状況を伺う。

市長 平成28年12月6日から
19日までパブリックコメント
を実施し、平成29年第1回定
例会へ議案上程し、可決後、
平成29年4月1日施行を目標
に作業を進めている。同条例
には市独自の制度として、県
内初となる、犯罪被害により

居住しているところで生活が
できなくなった場合、転居等
に要する費用の助成を行う規
定を盛り込んでいる。



個人質問

安心安全なまちを ICTと市民協働で

海老原作一 議員

質問1 ICTを活用した市
民参加型インフラ維持管理を
している先進他市の取り組み
の情報収集をしているか。

市長 千葉市では市民協働に
よるまちづくりを目指し、専
用スマートフォンアプリ「ち
ばレポ」を使用して市内で発
生している道路、公園やその
他の不具合を市民がレポート
し、ウェブ上で可視化・共有
化し、市民協働により解決を
目指す取り組みがされ、行政
コストの削減効果や業務効率
の向上が図られている。

再質問 ICTを活用した市
民参加型インフラ維持管理
を導入する考えはないか。

再質問 ちばレポによる参画
・協働意識の誘発効果につい
ての認識はどうか。
答弁 参加したことでもまちを
見る目が変わったなどの意見
があり、また、一層安全で住
みよいまちにしたという思い
が強まったなど、協働意識に
よるまちづくりを誘発する効
果が確認できたとしている。

質問2 空き家の実態把握は
進んでいるか。
都市建設部長 職員による実
態調査を始めており、今後は、
順次所有者に対して、建築物
の管理方針を調査していきま
いと考えている。
再質問 特定空き家の判断基
準の検討は進んでいるか。
答弁 実態調査の結果を踏ま
え、調査完了する来年度以降
に策定していきたい。

個人質問

イノシシによる被害状況は

櫻井正夫 議員

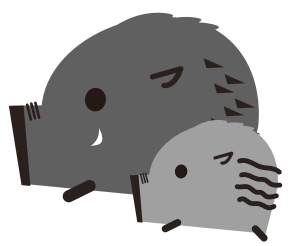
質問 稲作・畑作へのイノシ
シによる被害状況を伺う。

市長 印旛地域では12地区、
本笠地域で6地区、印西地域
で6地区の合計24地区におい
て稲作・畑作に被害を受けて
いる。被害状況だが、水稲に
おいては7月中旬からスタ場
(※体の虫や汚れを落とすた
め泥浴びする場所)として、
8月中旬から刈取り前までは
食害が発生し、刈取り後には
畦畔(※あぜのこと)が掘り
返されるなど一年を通して被
害を受けている。畑作につい

ては、3月から4月までにタ
ケノコ、7月から8月までに
トウモロコシ、9月から11月
までにイモ類、栗、柿、落花
生等において被害を受けてい
る。

再質問 農家個人が免許を取
得し、イノシシ駆除をしてい
る方がいるが、市としてのど
の程度把握しているか伺う。
答弁 今年度は今のところ、
個人3名に対して鳥獣捕獲許
可をした旨の通知を県から受
けている。市としては、この
3名の方が、印西猟友会に加

入していないことから、猟友
会に情報提供を行い、捕獲業
務において相互で狩猟事故の
無いように努めていただいて
いるところである。
再質問 イノシシからの被害
が増加しているが、対策等に
ついて市長の認識を伺う。
答弁 このまま放置しておく
と大変なことになるので、市
をあげて対応・対策を考えて
いく。



本会議がスマートフォン・タブレットでも視聴可能になりました



印西市議会では、インターネットによる本議会のライブ中継及び録画中継を実施しています。これまでパソコンからでしか視聴できなかった議会中継が、スマートフォン及びタブレット端末でもご覧いただけるようになりました。

なお、録画中継は、ライブ中継終了後、通常4日後(土・日・祝日を除く)より視聴いただけます。

※Windows パソコンで視聴するには、Flash Playerが必要となります。

Flash Playerのダウンロード(無料)は<http://get.adobe.com/jp/flashplayer/>から

委員会報告

市制施行20周年記念
花火大会中止問題等
調査特別委員会

本特別委員会は、委員数8名とし
9月議会最終日に発足。計7回開催
し、関係部署の4名の職員に対する
3回の聞き取り調査や、市に3回、
花火業者に2回の資料請求を行うな
ど花火大会が中止に至った経緯等
について調査した。市と業者は、代
理人弁護士を通じて協議を行って
いたことから慎重に行った。

その結果、「現場の除草作業は8
月11日時点で終了していた。市は業
者の作業工程のチェックを行ってい
なかった。中止の最終決定は市長が
行った。整地についての市の認識」
などについて確認した。

まとめとして、「市は誠実な態度
で業者との協議に臨み結論を得るこ
と。業者との協議を待つまでもなく
速やかに事業報告を公表すること。
責任の所在と処分を含めたその具体
的内容を書面で作成・公表し改めて
市民等に謝罪、再発防止に努めるこ
と。危機発生時の情報発信は、迅速・
正確・誠実・住民目線をめざし今後
の連絡体制、ルール作り等を求める」
とした委員長報告を議会最終日に行
い、質疑応答を経て終結した。



平成28年第4回定例会 議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、除=除斥
※議長(小川義人)は採決に加わりません。
※賛否が分かれた議案のみ掲載いたしました。

Table with columns for item name, decision result, and individual council members (小川, 橋本, 山田, etc.).

全会一致議案一覧

Table listing unanimous council resolutions (e.g., soil pollution prevention, budget approvals).

発議案

山本清議員に対する議員辞職
勧告決議の提出について

〔可決〕

会派「市民」に対する政務
活動費の返還訴訟の判決が確
定し、印西市はこの判決に基
づき、当時の会派代表に対し
不当利得返還請求書を送付し
た。これは「印西市議会の品
位と名誉を著しく汚した」も
のであり、同会派の当時の会
計責任者である山本清議員の
責任は極めて重い。よって、

陳情

山本清議員に対する議員辞職
勧告を決議するよう求めるも
の。

いには野小学校困窮設置工
事(住人過半数以上合意確認
まで)延期を求める陳情書
〔議員配布〕
福祉作業所コスモスに関する
陳情書
〔議員配布〕
政務活動費の領収書等の議
会ホームページでの公開を求
める陳情書
〔議員配布〕

各常任委員会の審査

印西市議会では、全ての議案を委員会において審査することを原則としています。12月8日に予算審査常任委員会、9日に総務企画常任委員会、12日に文教福祉常任委員会、13日に建設経済常任委員会をそれぞれ開催しました。

ここでは、紙面の関係により、委員会で行われた議案の主な質疑及びその答弁の一部を掲載します。

包括支援センター新設に向け 着々と準備を進める

予算審査常任委員会

質疑 地方債の補正では、財源調達を基金の取り崩し等、他の方法も考えられたかと思うが、市債を使うことに決めた理由を伺う。

答弁 基金等の活用も考えたが、小学校のトイレ改修ということもあり、将来負担の公平性ということで設定した。

質疑 農業振興費の被災農業者向け支援事業での補助金交付の条件を伺う。

答弁 採択要件は、今年の台風で被害を受けていること、農業によって生計を立ててい

る方となる。経営体の状況等があることで、申請者とのヒアリングにより確認している。

質疑 包括支援センターの開設及び購入予定の机や椅子の内容について詳しく伺う。

答弁 北部圏域、南部圏域、船穂・牧の原圏域、印旛圏域、5カ所それぞれの電話機、事務机、パーテーション等、細かい備品も含めて全て新たに購入するものである。

【審査結果】
●平成28年度印西市一般会計



〔可決〕

●平成28年度印西市下水道事業特別会計補正予算

●平成28年度印西市介護保険特別会計補正予算

〔可決〕

市立印旛医科器械資料館を 指定管理者委託に

指定管理者委託に

総務企画常任委員会

〔指定管理者の指定について〕
〔内容〕 印西市立印旛医科器械歴史資料館の指定管理者を指定するもの。

質疑 説明員の常駐は費用面で厳しいのか。

答弁 説明員は、月1回第1月曜日に来館し、要望があったら呼んで説明もできる。常駐すると、それだけ経費もかかり、市の持ち出しも出てくる。

質疑 仕様書の中でサービスの評価に関するアンケート等を実施するところがあるが、何回程度やっているのか。

答弁 今後の5年間でアンケート等を実施するというところで、現在は行っていない。

来年度からは来館者の方全てにアンケートを実施したい。

〔審査結果〕

●個人情報保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

〔可決〕

●特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び印西市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

〔可決〕



●印西市条例等の一部を改正する条例の制定について

●印西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

〔可決〕

新学校給食センターは 29年9月本格稼働

文教福祉常任委員会

〔印西市学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について〕

〔内容〕 印西市中央学校給食センターが新設され、高花・本笠・滝野学校給食センターが廃止されるもの。

質疑 廃止の給食センターについて地元説明を行ったか。

答弁 条例制定後に市のホームページ・広報への掲載、及び保護者等に通知する。

〔指定管理者の指定について〕
〔内容〕 総合福祉センターに設置している福祉作業所コスモス・中央老人福祉センター・地域福祉センター・子どもふ

れあいセンターについて、指定管理者として印西市社会福祉協議会・六親会協同事業体を指定するもの。

質疑 具体的運営方法を伺う。

答弁 主に社協が地域福祉センターと福祉作業所、六親会が子どもふれあいセンターと老人福祉センターを担当し、補完しあいながら運営する。

〔審査結果〕
●印西市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について



〔可決〕

●印西市立視聴覚ライブラリー設置条例を廃止する条例の制定について

〔可決〕

●財産の取得について

指定管理者の指定について

〔4議案可決〕

印西市の貴重な自然環境を 後世にわたり維持するために

建設経済常任委員会

〔印西市土地埋め立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例の制定について〕

〔内容〕 土地の埋め立て等及びこれに供する土砂等の土質について必要な規制を行うため、条例を制定するもの。

質疑 制定する理由はないか。

答弁 市域において無秩序かつ悪質な埋め立てが行われており、現行土砂条例では規制が困難であり、また、現行条例では自然発生の土のみを対象としているため、人工的に作っ

た土砂や廃棄物から作った資材、いわゆる改良土は残土条例や廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規制が及ばない状況にあるために、条例の制定に至った。

質疑 現条例と比較し非常に厳しくはないか。

答弁 県内18市町が規制強化している。正式な手続きを行うことで周辺住民の理解が得られ、安全で計画的な事業遂行に寄与するものと考える。

〔審査結果〕
●印西市土地埋め立て等によ



〔可決〕

●印西市道路線の変更について

〔可決〕

●工事請負契約の変更について

〔可決〕

委員会視察報告

平成29年度からコンビニで
住民票等交付サービスを開始

総務企画常任委員会



平成28年10月24日から26日まで、委員7名、執行部2名、事務局1名で愛知県東海市、三重県伊勢市、大阪府茨木市を訪問した。

東海市は人口約11万4千人、住民へのサービス向上のため、住民票等コンビニエンストア交付サービスまた、パスポート申請交付を開始している。本市はこの交付サービスを平成29年度から、パスポート申請交付を30年度から開始予定としていることから、先進地である同市を視察した。住民サービスの向上、行政改革、財政への寄与といった観点はとても参考になった。

茨木市は人口28万人、災害等への対応、危機管理に対する職員の意識、とくに男女共同参画の視念に配慮した取り組みが評価されている先進地であることから視察先に選定した。同市の災害ボランティアセンター運営訓練と女性防災リーダーの育成は、きわめて先進的で視察前に資料を読み込んでいたが、それ以上の内容に驚かされた。本市も早急にこの取り組みを進めて行くべきと考えた。



ITキッズプロジェクト・
脱メタボリックシンドローム

文教福祉常任委員会



平成28年10月18日・19日に行った行政視察には、委員5名、教育部長・健康福祉部健康増進課長、事務局1名が参加した。

静岡県浜松市 浜松市は平成23年に市政100周年を迎えた。ヤマハ楽器・カワイ楽器・スズキ自動車・本田技術研究所等を有し、国内有数の産業都市として発展を続ける。「子どもの才能を伸ばす課外講座開催事業について」浜松ITキッズプロジェクトとして平成24年度から課外特別講座開講。選抜試験を受けた小学3年生24人が3年間受講する。国際ロボットコンテスト日本大会小学生の部で1期生優勝、3期生準優勝。

愛知県蒲郡市 昭和29年に市政施行した蒲郡市は、本州のほぼ中心に位置し、温暖な気候の海辺の街である。平成28年4月1日現在の人口は8万1078人。「全庁的に取り組むPDCA健康戦略について」平成25年の調査により、蒲郡市はメタボ該当率が24・7%で愛知県内1位、特定保健指導を受けている率が4・8%と県内最下位であった。そこで、「体重測定1000日チャレンジ！めざせ1万人！」として、有志職員が始めた毎日の体重測定を市職員に呼び掛け、やがて市民1万人参加を目標に事業展開した。自分でできる簡単な健康管理の手法により、健康意識の向上、健康増進に大きな成果が出ている。当市は該当者は少ないものの、メタボ予備群は千葉県1位である。健康づくり推進のため、まず職員が参加するプロジェクトを検討できないか。



緊急時に備え
道路の拡幅整備を

建設経済常任委員会



平成28年10月19日から20日まで、委員7名、執行部2名、事務局1名で和歌山県田辺市、兵庫県姫路市を訪問した。

田辺市は世界遺産の熊野古道を有する人口約7万5千人の都市であり、産業競争力強化法に基づき、地域での創業を促進するために、民間事業者等とともに創業者を支援する取り組みを行っている。「創業支援について」田辺市には、梅干し、みかん、紀州備長炭などの特産品があるが、市場が成熟し、右肩上がりの成長が見込めない状況にあるという。しかしながら、観光資源である熊野古道に関連したものは、外国人旅行者を中心に堅調に推移しているといい、こうした観光と商業の連携した取り組みを図り、あらたな付加価値を生



姫路市は兵庫県南西部に位置する人口約54万人の都市である。「生活道路の拡幅整備について」姫路市では、生活道路整備要綱を定め、建築基準法第42条第2項の道路(狭隘道路)のうち、市道認定されている道路の拡幅整備を進めている。印西市の在来地域では狭隘道路が数多くあり、地震災害や救急活動に際し、緊急車両の通行に影響を及ぼす可能性がある。姫路市の事例を参考にし、市民の協力はもとより、建築士等の理解と協力が得られるように課題の解決に向け、取り組んでいく必要がある。

お知らせ

請願・陳情の提出はお早めに

請願・陳情書はいつでも提出できますが、定例会ごとに提出期限をもうけ、審議を行っています。提出期限については、議会事務局にお問い合わせください。



議会を傍聴してみませんか

次の定例会は、2月15日(水)～3月16日(木)までの会期予定です。午前10時からとなりますので、5階議場にお越しください。
 なお、都合により変更になる場合もあります。詳細については、お問い合わせください。



第1回 定例会会期予定及び日程

日	月	火	水	木	金	土
2/5	2/6	2/7	2/8 議会運営委員会	2/9	2/10	2/11 建国記念日
2/12	2/13	2/14	2/15 本会議 (議案上程)	2/16	2/17 本会議 (金派代表質問)	2/18
2/19	2/20 本会議 (金派代表質問)	2/21 本会議 (代表・個人質問)	2/22 本会議 (個人質問)	2/23	2/24 予算審査 常任委員会	2/25
2/26	2/27 予算審査 常任委員会	2/28 予算審査 常任委員会	3/1 予算審査 常任委員会	3/2 予算審査 常任委員会	3/3 総務企画 常任委員会	3/4
3/5	3/6 文教福祉 常任委員会	3/7 建設経済 常任委員会	3/8	3/9	3/10 本会議 (予算の採決)	3/11
3/12	3/13	3/14	3/15 議会運営 委員会 正副委員長会議	3/16 本会議 (議案の採決)	3/17	3/18

※常任委員会等の開会時間はお問い合わせください。

【印西市議会事務局】

☎0476-33-4614 ※ダイヤルインになりました。

一般質問の閲覧

平成29年第1回定例会(3月議会)で予定されている一般質問(代表・個人)の内容は、2月8日(水)以降、ホームページに掲載します。

市民の声

『市議会の傍聴で生きた請願』

田中明

地域住民に長く愛され続け「いこいの湯」が、突然に廃止された。利用者達から、再開を求める署名活動に発展した。多くの市議会議員のご理解と賛同を得て、請願書に託すことにした。報道機関に



も協力を願った。改めて、全議員に、お願いの文書を送付した(後日、多くの議員から、ご指導や励ましのお電話を頂きました)。定例市議会の各議員から、日を替え、月を替え、私達からの請願の意義を質問に組み入れ、力強く繰り返して発言されました。市執行部の回答は中味が薄く、毎回同じような回答に終始してしましました。私達の要望は、他に福祉・介護等に関する審議案件も多くあり、市政を知る為にも、議会の傍聴を風呂会の皆さんに呼び掛けました。私達の声を代弁した質疑・応

答には、時に目を見張る事もあり、時に呆れる事もありました。夫婦での連日の傍聴で、市政の内容も少々解り、勉強になりました。私達に出来る事！皆さんと相談、「市長への手紙」の活用です。市政へ意見・要望等出して返事を頂くこと。更に毎月開く「市長談話」の利用です。市長と直接話せる場で、私も毎月参加しています。時間が短く制限はあるが市政の事ならOKです。三年間辛抱強く休まず頑張りました。「いこいの湯再開」皆さんの協力と行動に深く感謝します。

市民の声のモニターを募集中

【印西市議会事務局】

☎0476(33)4614
 議会議事局までご連絡ください。
 議会だより編集委員会では、市民のみなさんから議会の活動等について、ご意見や感想をいただく「市民の声」のモニターを募集しています。(若干名)
 ご協力いただける方は、議会議事局までご連絡ください。

高槻市議会公明党議員団が視察に来庁

平成28年11月2日(水)大阪府高槻市議会 公明党議員団(議員4人)が視察に訪れました。
 視察内容は、「印西市都市マスタープランについて」で、小川議長から歓迎の挨拶、都市計画課から事業の説明を行いました。



長野県議会公明党「新ながの」が視察に来庁

平成28年11月8日(火)長野県議会 会派「新ながの・公明」(議員4人)が視察に訪れました。
 視察内容は、「千葉国体山岳競技の開催を契機とした山岳競技の振興について」で、小川議長から歓迎の挨拶、スポーツ振興課から事業の説明を行いました。その後、クライミング施設の見学、クライミング体験をしていただきました。



編集後記

平成28年は、参議院議員選挙、本市のリーダーを選出する市長選挙が行われ、また市制施行20周年の節目の年でもありました。記念事業として、様々な取り組みがあり、「継続して取り組んで頂きたい事業がある。」との市民の皆様の声が届いております。20周年の記念事業をしっかりと検証して次につなげていきたいと考えます。

議会議事局では、議会の広報紙を市民の皆様が手に取りやすく、読みやすい広報紙となるようコンクール等で優秀な成績を収めている先進地への研修等を実施してきました。現在、タブレット版からA4版へのリニューアルを視野に入れて委員一同、協議を続けています。

今後は、議会の活動を多くの市民の皆様知っていただくためにも、広報紙を通して情報の発信を積極的に行っていきたく考えます。手に取って読んでいただける広報紙を目指していきます。
 さて、今年も西暦です。掲げた目標に向かって編集委員一同、翼を広げて大きくはばたいて参ります。(S・I)

- 委員長 橋本 和治
- 副委員長 藤代 武雄
- 委員 米井 重行
- 委員 岩崎 成子
- 委員 松尾 榮子

